

西大和つうしん

2014年 4月号

No.382



寒風より下る：2月23日例会山行 大谷山

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第382号(2014年4月号)

【目次】

4月度山行計画.....	1
4月度・5月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
山行報告	
・HLS修了生訓練山行 《2月22-23日》 比良の山 武奈ヶ岳(杉川).....	4
・例会山行1 《2月23日》 比良の山 大谷山(藤井).....	5
・自主山行 《3月1日》 湖東の山 伊吹山(今井).....	6
・例会山行1 《3月9日》 信貴・生駒の山 平群の里～枚岡公園(橋本)....	8
・自主山行 《3月15日》 大峰の山 四寸岩山・大天井ヶ岳(藤本)..	9
・女性部山行 《3月16日》 奈良中部の山 大和三山と甘樫の丘(亀井)....	11
室内例会だより(2/26).....	12
(囲み記事)ご案内:県連主催《Nカ-のための搬出技術講習会》.....	7

4 月 度 山 行 計 画

～ひと目千本と言われる吉野の桜と山歩きが楽しめる蜻蛉の滝から青根が峰に登りましょう!!～

◆4月13日(日):公開山行◆吉野の山《吉野の桜と青根ヶ峰》

〔L:杉村 / 緊連:都築〕

【集 合】近鉄大和上市駅 8:50 (9:03 発 西河行バスに乗車)

【コース】蜻蛉の滝～青根が峰～西行庵～金峰山神社～高城山(15:00頃)

※高城山で解散後は自由行動

【帰着予定】公開山行につき、降水確率50%で中止

～滝巡りとヒカゲツツジが咲く岩尾根～

◆4月20日(日):例会山行1◆丹波の山《笹見四十八滝》

〔L:田中初 / 緊連:都築〕

【集 合】上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】キャンプ場P～滝巡り～(70)～八ヶ尾山分岐～(90)～八ヶ尾山～(50)

～つまご坂登山口～(60)～キャンプ場P【歩程】約4時間20分

～イワクラ尾根のアカヤシオと秀峰鎌ヶ岳の展望を求めて～

◆4月27日(日):例会山行1◆鈴鹿の山《入道ヶ岳》

〔L:藤本 / 緊連:都築〕

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:30

【コース】宮妻峡登山口(9:00)～入道ヶ岳(11:00)～《イワクラ尾根》～

〔この間で昼食〕～重ね岩～水沢峠(13:30)～宮妻峡登山口(15:00)

【帰着予定】上牧町役場前駐車場 18:00頃

西大和山の会 カレンダー

4 月		5 月			
1	火	県連理事会(県事務所19:30)	1	木	
2	水		2	金	
3	木		3	土	
4	金		4	日	
5	土		5	月	
6	日	近畿ブロック搬出講習会(大津市比良げんき村)	6	火	
7	月		7	水	
8	火		8	木	ハイキングリーダー学校・座学第1回(県事務所19:30)
9	水		9	金	
10	木		10	土	
11	金		11	日	例会山行 搬出技術講習会(郡山市立少年自然の家)(杉川)
12	土		12	月	
13	日	公開山行 吉野 蜻蛉の滝～青根ヶ峰(杉村)	13	火	県連理事会(県事務所19:30)
14	月		14	水	
15	火		15	木	
16	水		16	金	
17	木		17	土	
18	金		18	日	例会山行 湖北 横山岳(島崎)
19	土		19	月	
20	日	例会山行 丹波 筱見四十八滝(田中初)	20	火	
21	月		21	水	『西大和つうしん』6月号原稿締切
22	火		22	木	
23	水	『西大和つうしん』5月号原稿締切	23	金	
24	木		24	土	
25	金		25	日	例会山行 クラマイク 金剛山(林)
26	土		26	月	
27	日	例会山行 鈴鹿 入道ヶ岳(藤本)	27	火	
28	月		28	水	室内例会
29	火		29	木	
30	水	室内例会	30	金	
			31	土	

山行・行事等参加メロ

		室内例会	例会山行1	公開山行	例会山行1	例会山行1	例会山行1	夏山山行	夏山山行	夏山山行
入会順		3/23 室内 例会	3/30 三上 山	4/13 青根 ヶ峰	4/20 笹見四 十八滝	4/27 入道 ヶ岳	5/11 搬出 訓練	7/25-27 甲斐駒 千丈	8/7-11 北アルプ 表銀座	8/22-25 北アルプ 剣岳
1	(窪田)			○						
2	都築	○	×緊	×緊	×緊	×緊	△	○	×	×
3	藤井	○	△	○	○	○	×	×	○L	×
4	(石田)									
5	多賀	○	×	○	○	×	○	○	×	×
6	田中悦	○	○	○	○車	○車	○	×	×	×
7	島崎	○	×	○	○車	×	○	×	○	○
8	田中初	○	○	○	○L	○	○	×	×	×
9	村田	○	○	○	○	○	○	○	×	×
10	林	○	○	×	○	×	○	×	○	×
11	辻		×		○車					
12	勝尾	○	○	△	△	△	×	○	×	×
13	藤本	○	×	○	○	○L	○	○	△	×
14	杉村	○	○	○L	○	×	×	△	○	×
15	内田	○								
16	高橋	○	○L	×	×	×	×	×	×	×
17	玉越	○	○	×	×	×	×緊	○	×	×
18	的場	○	×	○	○	×	×	×	△	○L
19	杉川	○	○	×	○	○車	○L	○	×	×
20	阪口	○	×	○	△	○	×	×	×	○
21	橋本	○	△	○	○	×	○	△	△	×
22	今井	○	○	×	○	○	×	×	×	○
23	(高田)	休 会 中								
24	亀高	○	×	○	○車	○	○	○L	×	×
25	松浪	○		○	○	×	○			
26	亀井	○	○	×	○	×	×	×	○	×
	合計		11+α	14+α	17+α	9+α	11+α	8+α	5+α	4

※3/30 三上山の参加者は 2/26 室内例会時のデータ

ハイキングリーダー学校修生対象 訓練山行

比良の山 《武奈ヶ岳》

【日 程】 2月22日（土）～23日（日）

【参加者】 杉川・他会より3名／中武（講師：奈良芳山）（計5名）

【コースタイム】

- 2/22 畑(9:55)～休憩(10:50)～林道そして斜面へ(11:20)～地蔵山
(14:15)～イクワタ峠付近テント設営(16:00)
- 2/23 イクワタ峠付近(10:00)～横谷峠(11:40)～畑(13:05)

ハイキングリーダー学校終了すぐですが修生対象の自主山行に参加してきました。来年のゴールデンウィークに北アルプスに行こうという目標に向けてのトレーニングと雪山テント泊の訓練。行き先は武奈ヶ岳。畑のバス停より稜線まで登り武奈ヶ岳へ向かうルート。テント泊装備の為ザックも重い。20キロを背負いひたすら登る。斜面に取り付いてはひざラッセル。その後はつぼ足にて登る。雪が深い！ザックの重さと体重の重さ、沈みまくる！まいりました、いかに上手に雪の上を歩くのが難しいかを実感しました。体重を落とそうと考えながら登りました（笑）



しかし、ここでアクシデント。片足が攣る！かばいながら登るももう片方も攣る。両足が攣る。しかもなかなか治らない！なんとか稜線まで登るも治らない。

致し方なく、仲間にテント、コッヘル、食材を託し先に進んでもらう。不思議なもので荷物が少しでも軽くなると攣るのもましになる。みなさんにご迷惑をお掛けしました。それとともに仲間の有難さが身にしみる。

なんとか合流しテント設営。トイレも作り、水を作り、やっと夕食。雪山テント生活の基本を教えて頂きました。顔を出すと琵琶湖と高島の夜景が美しかったです。テントの中でも気温はかなり低くなり、鍋が本当においしかったです。

次の日は体調不良者も出たのでそのまま下山という事になりました。昼過ぎには下山し、京都にて反省会。もっと雪山の基本を学ばねばならないと思いました。

ハイキングリーダー学校終了後でもこのような学びの機会を与えてくださった講師の先生に感謝です。

(杉川 明裕)

例会山行1

比良の山 《大谷山》

【日 程】 2月23日(日)曇りのち晴れ

【参加者】 L 藤本・SL 島崎・多賀・的場・亀高・村田・勝尾・杉村・今井・橋本・藤井 (11名)

【コースタイム】 マキノ温泉さらさ(10:10)～西山林道との分岐(アイゼン嶺)(10:50/11:00)～562m 小ピーク(11:18)～〔昼食〕(12:05/12:30)～寒風(12:40/12:46)～引返し地点(12:54/12:57)～寒風(13:01)～562m 小ピーク(13:44)～西山林道との分岐(13:58)～マキノスキー場(14:30)

10 日ほど前の奈良の記録的な大雪も湖北方面は影響なかったようで、マキノスキー場は全く積雪はなく褐色の草原だった。雪のないただ広いゲレンデの急斜面を黙々と登り、登山道に入るとやっと積雪が見られるようになる。

西山林道への分岐でアイゼンを装着する。高度が上がってくると、すっかり葉を落とした木々の間から琵琶湖や対岸の真っ白な山々の展望が広がってきた。雲もだんだんとれてきて、ブナ林の中、真っ白な雪を踏みしめて登るのはとても気持ち良かった。雪も固く締まっていたアイゼンの感触が心地よい。

寒風の手前の窪地になったところで昼食にする。誰かが作ってあった雪洞でお湯をわかす。風もなく、暖かい日差しの中、雪に囲まれての楽しい昼食タイムを過ごした。

昼食地点から 10 分も登ると主稜線の寒風に着いた。さすがに風が強いが遮るものないすばらしい大展望にしばし見とれる。ただ気温が高くて樹氷がないのがちょっと残念。

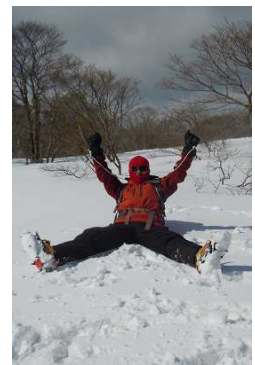
すぐそこに見える大谷山まではなだらかな雪原の稜線が続いているが 3 時台のバスに乗りたいで山頂までは無理なようだ。少し大谷山方面へ歩き、青空と眼下に広がる



大展望と雪原と最高の雪山を楽しんだ。

下りは同じ道を引き返す。時々尻セードを楽しみながら一気に下った。

(藤井 益子)



自主山行

湖東の山 《伊吹山》

【日 程】 3月1日 (土) 曇りのち雨

【参加者】 L 藤本・的場・今井・亀高 (4名)

【コースタイム】 上野登山口 (三ツ宮神社) (9:05)～〔衣服調整〕(9:27/30)～一合目(9:36)～二合目(9:53/58)～三合目(10:35)～五合目(10:52/11:00)～六合目(11:13/16)～九合目〔急登終了〕(12:26)～伊吹山頂(12:32/13:30)～九合目(13:33)～六合目(14:10)～五合目(14:19/24)～三合目(14:35)～二合目(14:58)～一合目(15:07/14)～上野登山口(15:35)

2度目の伊吹山。前回は入会して間もない3月半ば過ぎ、曇り空の中、一合目からのぬかるんだ泥道と三合目からの冬道の直登コースを、ただ前の人足跡を追いながら歩き六合目からの急斜面を6本爪アイゼンで苦労して登った事等思いだす。今日は2週間ほど前に大雪が降ったとは思えない暖かさで春の気配を感じながら伊吹山登山口駐車場へ。予定通りの時間に到着し、準備して登山口に向かう。途中、土産屋のおばさんに「雪の無い山行ってもしょうないやろう」と声掛けられるがめげずに登山口へ。

登山口を入ると乾いた山道で歩きやすい。がいつもの事ながら足が重くゆっくりペースで歩く。二合目辺りになると草原が現れ植物の保護柵が目につく。節分草が有ると聞いていたのもしやと思い目を凝らすが見当たらなかった。余りの暑さに汗が噴き出し目にしみる、私には珍しい事。三合目まで来ると伊吹山の大きな全容が現れる。初めてまじかに見る伊吹山。今日の伊吹山には山頂直下にしか雪は無く、



夏道を行く先行者の姿が見える(前回はガスで山容も景色も見られなかった)。我々もそれに続き、五合目のベンチや六合目の避難小屋と合毎に休憩を取り、ゆっくり登る。空は曇り空だが眺望は良く眼下の建物や霊仙山が綺麗に見える。時々振り返り高度感を楽しむ。

九十九折の夏道や歩き難しい雪渓の道を用心しながら登り九合目下、アイゼンは使わず、気を付けながら九合目まで雪

溪を直登する。やっぱり速い、あっという間に上に出た。疲れた足には九合目から山頂小屋までは長かったが山頂は風も無く穏やかだった。

小屋横でゆっくり昼食を取った後、いつもの撮影場所、日本武尊の像の前で記念撮影を終え、山頂からの鈴鹿の山、北陸の山等雪を頂いて美しい山並みを見て、帰りは夏道を下る。二合目辺りまで降りると粘土質の土が水分を含み靴に付き疲れた足に重い。重い靴を引きずり登山口へ何とか予定通りに下る事が出来た。登山口近くの水路で各々靴を洗い帰途につく。



この時期の伊吹山は雪の直登コースと思いこんでいたが思いがけず夏道を歩く事が出来た。伊吹山の花は楽しんで見られる山頂付近の花しか見た事は無いが、さぞこれからの季節、裾野にも沢山の花達が咲き競うだろう。がやっぱり暑さには相当な覚悟がいる事を知った山行だった

お忙しい中、自主山行して頂いた Fさんと車を出して頂いた Kさんに感謝しております。お蔭さまでかねてから行きたかった伊吹山に行く事が出来ました。有難うございました。

(今井 雅代)



ご案内：奈良県連主催

《ハイカーのための搬出技術講習会》

日 時	5月11日(日) 9:00 (9:00~16:30の予定)
場 所	大和郡山市立少年自然の家 8 (予定) 大和郡山市矢田町 574 (0743-53-7290) ※室内での講習と付近のフィールドでの実践(雨天の場合は室内)を併せて行います。
講 師	今井 雅文 氏 (全国連盟遭難対策部員・元埼玉県連救助隊長)
装 備	日帰り山行の服装、装備。弁当、飲み物等。
申込み先	各会会長・理事
締め切り	4月17日 ⇒県連に報告 4月18日

例会山行 1

信貴・生駒の山 《平群福貴の里～枚岡神社》

【日 程】 3月9日 (日) 晴れ

【参加者】 L 多賀・SL 林・窪田・村田・島崎・辻・田中(悦)・藤井・田中(初)・藤本・高橋・玉越・今井・亀高・亀井・橋本 (16名)

【コースタイム】 平群駅(8:30)～白山神社(8:50)～十三峠(10:45)～鐘の鳴る丘(11:10/12:00)～鳴川峠(12:30)～ぼくらの広場(13:00)～枚岡駅(14:20)

8時30分に平群駅に集合し十三峠へ、町中を通り山に通じる車道から松尾道に入る。道端に路の臺を見つけ本当に春の気配を感じます。

福貴の白山神社を経て山道に入ります。藤本さんの案内で眺めの良いところや、花がよく見える場所に。ケイオウ桜や紅梅などが咲いていましたが、多くの木々はまだ蕾を抱いておりもう一歩といった感じでした。

十三峠から生駒縦走路に入り、鐘の鳴る丘へ。ここで食前酒のワインを頂き、ゆっくり昼食を兼ねた休憩を一時間程とり「ぼくらの広場」へ行きます。幾つかのアップダウンを繰り返して到着。天気が良かったこともあり、沢山の人がおられました。

枚岡梅林は、満開の花を見ることができ満足でした。

近場でのんびりとした山あい歩きと思いきや、息を切らせながらのアップダウンも多々あり楽しい例会でした。

1月12日自主山行は、枚岡からの縦走だったので反対から歩く景色はどんな風だろうかと少し楽しみだったのですが、「この前通った」と言われるまで気づかないところもあり、ほんとに記憶の悪さを再認識致しました！

(橋本 紀子)



自主山行

大峰の山 《四寸岩山・大天井ヶ岳》

【日 程】 3月15日(土) 晴れ時々曇り、のち快晴

【参加者】 L 藤本・SL 藤井・阪口・今井(4名)

【コースタイム】 四寸岩山登山口(8:00)～心見茶屋跡(8:15)～▲四寸岩山 1,235.8m (9:24/30)～足摺茶屋跡(9:54/56)～林道交差(10:37)～百丁茶屋跡・二蔵小屋〔アゼン装着〕(10:56/11:16)～1,239m 地点(11:48/55)～祠の広場・大天井茶屋跡(12:28/37)～〔この間通常ルートをはずれて直登〕～▲大天井ヶ岳 1,438.9m〔昼食〕(13:18/58)～五番関(15:05/13)～五番関トンネル西口〔アゼン取外し〕(15:27/42)～毛又橋(16:25)～母公堂〔コヒタイム〕(16:41/55)～ゴロゴロ水〔携帯が通じたのでタクシーを呼ぶ〕(17:02/04)～洞川温泉バス停(17:31)

「入峰」(大峰に入る=大峰奥駈)は学生時代に何度か真似事をしたものだが、今年度ひさしぶりに再挑戦を目論んでいる。手始めに、今回は最北の部分を試みに歩いてみることにした。吉野から熊野へ南下する「逆峰」の場合、第75番靡(なびき)の「柳の渡し」(近鉄六田駅付近)から始めるのが本来なれど、青根ヶ峰までは桜の季節にとっておくことにして、四寸岩山登山口までタクシーをとばした。

以前歩いた奥駈道(在来道)は、山上ヶ岳への速達を第一とし、四寸岩山や大天井ヶ岳などのピークを捲くいわばバイパスであったが、林道吉野大峰線の建設によりずたずたにされたため、近年、金峰山寺によって、律儀に稜線をたどる古来の道が復活した。今回歩くのはこちらの「古道」である。



林道脇から新雪に覆われた「古道」に入る

や、いきなりの急登。体が慣れぬまま心見茶屋跡を過ぎてしばらく、霧氷が現れた。気温と湿度の絶妙なさじ加減の結果か、これまで見たことのない繊細なその美しさに感動。やがて勾配がゆるみ 1,235.8m 四寸岩山頂上。森全体が上品な霧氷をまとって空の青に映える。南方には山上ヶ岳へと連なる稜線に今日

の目標、大天井ヶ岳がそびえ、果てには弥山・八経がかすんでいる。下って足摺茶屋跡(役の行者の母公が息子と別れるつらさに足摺りした跡と伝える)、在来道への分岐を過ぎ林道を渡ってふたたび緩い登りに転じてしばらくいけば、第69番靡の百丁茶屋跡につく。吉野と山上ヶ岳の間二百丁の中間点で、立派な二蔵小屋が建つ。大天井ヶ岳への急登に備えアイゼン装着。

百丁茶屋跡からは、大天井ヶ岳東麓を捲く在来道と別れて、古道の急坂にとりつ

く。四寸岩山あたりから続く一匹の動物の足跡だけを道連れに（この足跡は大天井ヶ岳を越えて、五番関から林道の毛又橋まで続いていた）、高度を上げるにつれ雪が深くなるが、新雪の下は固い根雪で、アイゼンのききがすこぶる良い。1,293mのポイントで小休止ののち、しばらくは緩やかな登り。テープをさがしながら一層深くなった雪の中をすすめば、ふいに展望が開け、祠のある広場に飛び出した。春の陽光に輝く一面の霧氷、北の方角には今日たどってきた四寸岩山からの稜線が凍った枝ごしに見渡される。実はこの一角、かつての大天井茶屋跡で、その展望のよさがゆえに、茶を頼まない者も場所代を支払ったと言う。

ここまで来れば、頂上は目と鼻の先。残る急登を一気にこなして昼ご飯にしよう！そう思った心に油断があったのだろう。いよいよ深くなる雪の斜面を登るうち、いつの間にかテープを見失い（そういえば、あの動物の足跡もなくなっていた）、気が付けば目の前には急斜面のトラバース。これに怖れをいだいてひたすら直登するもますます傾斜は厳しくなり、雪面もアイスバーンと化した。悪いことは重なるもので、この付近だけは支えに使える樹木もほとんどない。ここでひとたび足をすべらせば、まず間違いなく……。一步一步雪面に足場を穿ちながら恐怖の時間を過ごすこと半時間、ようやく傾斜が緩み大天井ヶ岳 1,438.9m の頂上にたどり着いた。



この失敗は、山頂はもうすぐだと楽観して、地図も確認せず、テープがないことにも気づかず直登したことが原因であった。正しいルートは山頂近くで急傾斜を東へ迂回したのち、南から折り返して山頂に到達しているのだが、我々は反対に西方向へ回り込み、トラバース不可能となって直登を強いられることとなったのである。

さて、大天井ヶ岳頂上で遅い昼食。緊張から解放されたあとだけに、これまで以上に会話はずみ、言うまでもなく素晴らしい景色は、なおさらその魅力を増した。40分間たっぷり休憩ののち下山開始。今度は執拗なまでにテープや地形を確認しながら下る。気持ちのよい霧氷のプロムナードも間もなく見納め。木々の間からは、真っ白な大峰の山々が青空をくっきりと切り取っているのが眺められ、遥か東方には、天を突く白髭岳の姿も。五番関の女人結界門で記念撮影をしてから、最後の急坂を下りトンネル西口で雪山の装備を解く。

こののちは林道歩き。でも積雪があるので脚に優しい。毛又谷では奇妙な形の氷結を発見。見上げれば、いつの間にか快晴となっていた空の青に、白く輝く山上ヶ岳が美しい。途中母公堂で駐車場管理の方にコーヒーをごちそうになり（駐車していないのに）、いくたびか滑って尻もちをつきながらも、弾む会話に時間も忘れ、呼んでおいたタクシーの到着とほぼ同時に洞川温泉のバス停に到着した。

洞川よりの入峰が一般的となっている現在、なかなか通る機会のない吉野道、昔とは様変わりしたものの、ほぼ25年ぶりの再訪におつきあいいただいた皆様にご心から感謝したい。次回は女人禁制域を避けて、川上村柏木から再入峰となる。

（藤本 武司）

女性部山行

奈良中部の山 《大和三山と甘樫の丘》

【日 程】 3月16日(日) 晴れ

【参加者】 L 村田・窪田・島崎・田中(悦)・田中(初)・藤井・杉村・高橋・的場・今井・亀高・松浪・亀井 (13名)

【コースタイム】 橿原神宮前駅(9:02)～橿原神宮(9:11)～畝傍山(9:42)～甘樫の丘(11:24)～香久山(12:26)～藤原宮大極殿跡(12:40/13:30)～藤原宮跡～耳成山(15:00)～八木駅(15:45)



四月上旬頃の気候に恵まれ、橿原神宮前駅中央改札口を出て前の広い道を歩く。前方に畝傍山の山容が見える。少し歩くと大きな鳥居がある橿原神宮の境内に入る。紀元 2674 年と記してある本殿で本日の無事をお祈りし、畝傍山登山口から緩やかな登り道を進み、途中から右へ急登坂の方を取り山頂へ。ここで今日めざす耳成山、香久山を身近に視て、金剛葛城山系も確認。

下りも急坂。神宮前駅を通過、ガイドの方と合流し、和田池を右に視て推古天皇住居跡の豊浦宮跡。信濃善光寺伝説のある難波池を経て登りつめたところが甘樫の丘。ここで飛鳥の里を一望する。この奈良盆地が太古湖であったとは……………

丘を下り飛鳥川を渡り、水時計跡、大官大寺跡経て、菜の花、紅白梅、露の臺、ヒバリの囀りを聞きながら、農道を北上して標高 152m の香久山へ。この三角点で写真撮影、天岩戸神社から藤原宮大極殿跡で昼食。藤原宮跡へ、その後資料室へ向かう。「持統天皇、文武天皇、元明天皇の三代にわたる(西暦 694 年～710 年迄)本格的な都市計画の元、造営され、律令制も整備された、出土品も多数あり。」偉大さ壮大さに圧倒された。宮跡で村田さんから {おはぎ} を頂戴し、1300 年の時を感じながら美味しく頂きました。

これより北西に歩き JR 桜井線、近鉄大阪線を越えいよいよ耳成山。山容は円錐形で古池に写る姿が美しいらしいが、今日は風が少々あり残念。登山口からは明治天皇も馬車で登られたらしい。その緩やかな登り道を選んだ。道は良いが、歩きに歩いて山を 1 周半位周回して山頂へ。少し下るとここにも山口神社があり、和算(日本式幾何学)の神様でもあるらしい、15 時 13 分に下山。これより横大路(竹内街道)を歩く。八木札の辻交流館。これは旧旅籠を改修されとの事、ここでお茶の接待を受けました。立派な建物。六角形の井戸も小さくなったが、現存、古い町並みを散策しながら駅へ。今回はボランティアガイドを手配して頂き有り難うございました。

(亀井 稚代)

室内例会だより

【日 時】2014年2月26日(水) 19:30~21:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、村田、多賀、田中(悦)、田中(初)、藤井、辻、勝尾、高橋、玉越、的場、杉川、阪口、橋本、今井、亀高、亀井、都築

1. 山行案内

- 3月 1日(土) 自主山行 琵琶湖北東部の山(伊吹山) L 藤本
3月 9日(日) 例会山行1 信貴・生駒の山 (福貴の里から枚岡神社) L 多賀
3月16日(日) 女性部山行 奈良中部の山 (大和三山と甘檜の丘) L 村田
3月30日(日) 例会山行1 湖東の山 (三上山) L 高橋

2. 山行報告

- 1月19日(日) 例会山行2(奈良県連交流山行)
葛城・金剛の山(紅葉谷から金剛山) L 藤本 西大和より12名、他会より32名
1月26日(日) 例会山行1 大峰の山(観音峰) L 林 15名
2月 2日(日) 県連ハイキング-ダ-学校教育山行
鈴鹿の山(藤内沢経由 御在所岳) 西大和より1名杉川、他会より5名
2月 9日(日) 例会山行1 鈴鹿の山(国見岳) L 藤井 7名
2月16日(日) 例会山行2 葛城・金剛の山(葛城山) L 島崎 10名

3. 連絡その他

・県連より報告

- 3月2日(日) 県連総会 会場 大和郡山市市民交流会館
4月6日(日) 近畿ブロック搬出講習会(比良)参加者 藤本、杉川
来年度県連ハイキング-ダ-学校 4月30日 締切
県連常任理事(西大和としては、返事を保留)
労山新特別基金を4月1日改正予定
①ドアツウドアの廃止
②海外登山の規定改正
③10年間無事故の会に対する報奨金(検討中)

・夏山山行

- ①甲斐駒・仙丈 (一般コース)7月下旬頃 L(調整中)
②北アルプス表銀座コース(一般コース)8月上旬頃 L 藤井
③劔岳 (中級コース)8月下旬頃 L 的場

(都築 周作)

西大和つうしん

第382号(2014年4月号)

2014年3月23日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>